

頑張る人をばかにすると、自分も頑張れなくなる。 頑張る人を応援すると、自分も頑張れるようになる。

頑張る人をばかにすると、自分も頑張れなくなる。頑張る人を応援すると、自分も頑張れるようになる。

頑張る人をばかにする人がいます。

- ・懸命に勉強している人をばかにする人
- ・真面目に練習している人をばかにする人

「さあ、今日も頑張ろう！」と思うのと言うのとでは、効果が違う。

「さあ、今日も頑張ろう！」

1日の気合を入れる言葉です。

この一言によって、心に気合が入って気持ちが前を向き、1日をスタートダッシュできます。

頑張る方には、2種類ある。「力を入れて頑張る」「力を抜いて頑張る」。

「頑張る」

そう聞いてまず思い浮かべるのは、力を入れた頑張る方でしょう。

気合を入れ、気持ちを集中させ、全力を出す。

「これは難しそう」に続く言葉は「でも実は大したことない」。

「これは難しそう」

そう思うことがあると、ためらいが生じます。

もちろん「これは難しそう」と思うのはいいのです。

1位でフィニッシュした人だけが勝者ではない。 笑顔でフィニッシュした人は、すべて勝者。

競争の勝者は誰でしょうか。

普通に考えると「1位でフィニッシュした人」と考えることが多いのではないのでしょうか。

たとえば、短距離走・長距離走といったスポーツなら、1位でフィニッシュした人が勝者です。

勝ち負けのない時間は、本当の自分に戻る時間。

人生では勝ち負けが関わる場面が存在します。

学校では、成績上位と志望校合格を目指して、頑張って勉強します。

スポーツでは、高得点を上げるために、日々体を鍛え、技術を磨きます。

慰めの言葉を待つのは、もうやめる。

慰めてもらうのを待っていませんか。
落ち込んだとき、慰めの言葉が欲しくなります。
「誰かに慰めてもらいたい」

小さな仕事を頑張れない人は、大きな仕事も頑張れない。 小さな仕事を頑張れる人は、大きな仕事も頑張れる。

仕事の差はどこに出るのか。
大きな仕事ではありません。
小さな仕事です。

無気力というのは思い込み。気力の出し方がわからないだけ。

「自分は無気力な人間だ」
「なかなかやる気が出ない」
「元気が出なくて苦勞している」

自分の気持ちは考えても、相手の気持ちを考える人は少ない。

多くの人が注目するのは「自分の気持ち」です。
自分の気持ちについては、誰もがよく考えます。
「嬉しい」「楽しい」「面白い」といった快の気持ち。